第１０回景況調査（融資、小売店・飲食店・サービス業）

H22.11.26　　産業部 商業観光課

１　現状調査及び分析

（１）各景況レポートからの情報

①H22 年 7 月－9 月期中小企業景況調査結果

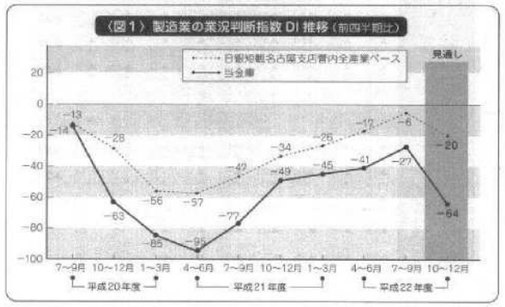
全産業のＤ．Ｉ（景気動向指数・前年同期比）は売上額が▲31.4（前期比 4.7UP）、採算は▲37.2（同 2.5UP）、資金繰りは▲26.6（同 1.8UP）となり、いずれのＤ．Ｉも改善した。

（10 月 19 日　全国商工会連合会）

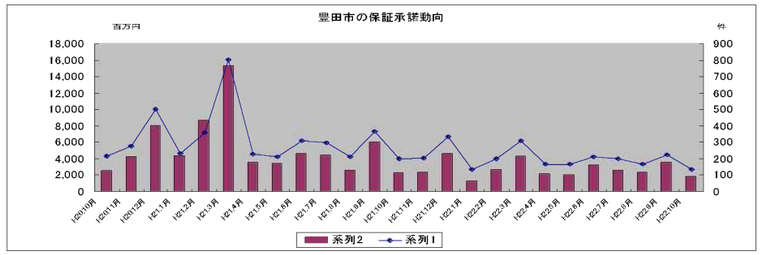
	7－9 月期の景況	10－12 月期の見通し
建設業	改善	大幅に悪化
製造業	改善	横ばい
卸・小売業	改善	悪化

②市内金融機関発表景況レポート 2010 年 10 月号

製造業の業況判断指数ＤＩ推移（前四半期比）



（２）豊田市における融資状況（愛知県信用保証協会が保証決定したもの）



融資の状況は落ちつきつつあり、セーフティネット関連資金も減少している。

◆業種別認定状況（平成 22 年 10 月 31 日現在）

年度	建設業	製造業	卸売業	小売業	運送業	その他	計
H20	295 件	413 件	65 件	141 件	43 件	202 件	1159 件
H21	382 件	390 件	69 件	168 件	44 件	274 件	1327 件
H22	100 件	66 件	19 件	52 件	6 件	88 件	331 件
合　計	777 件	869 件	153 件	361 件	93 件	564 件	2817 件

（３）豊田市の信用保証料緊急経済対策補助金の動向（平成 20 年 10 月 1 日～平成 22 年 10 月末現在）

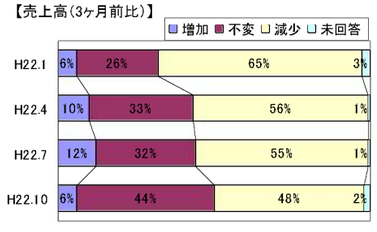
年度	振・振小・マルトヨ 補助率 75%⇒100%		経済対策特別資金 新規・補助率 100%		セーフティ５号関連 新規・補助率 100%		合　計	
H20	406 件	62, 661, 300 円	216 件	94, 417, 700 円	627 件	341, 624, 200 円	1249 件	498, 703, 200 円
H21	708 件	83, 511, 500 円	245 件	92, 019, 600 円	1366 件	551, 501, 800 円	2319 件	727, 032, 900 円
H22	353 件	48, 462, 200 円	99 件	13, 876, 500 円	289 件	40, 831, 100 円	741 件	103, 169, 600 円

・件数、補助額とも減少しており、補助額も小口化してきている。

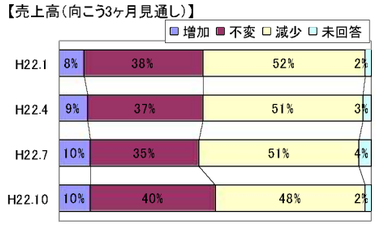
（４）商業者の現況（H22 年 10 月末～11 月上旬　商店街・商工会会員アンケート調査）

回収枚数 209 枚　小売業 62、サービス業 43、建設業 13、飲食業 50、その他 41

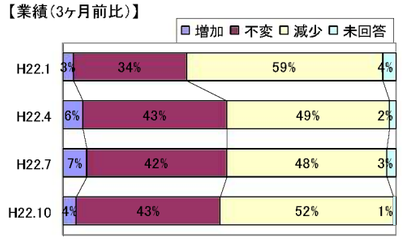
【売上高（3ヶ月前比）】



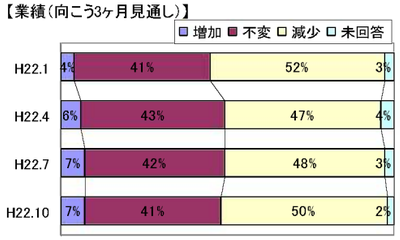
【売上高（向こう3ヶ月見通し）】



【業績（3ヶ月前比）】

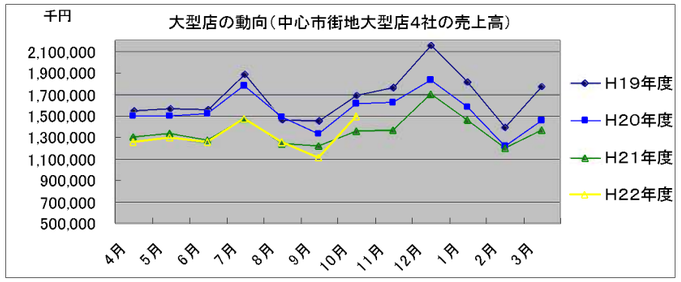


【業績（向こう3ヶ月見通し）】



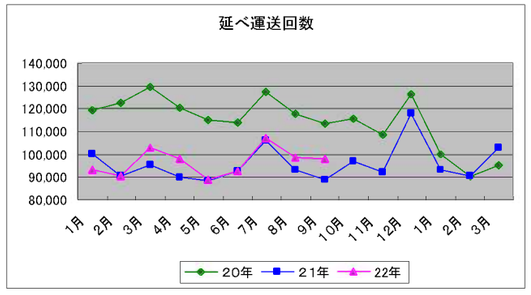
・売上高については、「減少」という回答は徐々に減ってきており、今後の見通しについても同様である。
・業績については、３ヶ月前比で「悪化」という回答が増加し、今後の見通しについても同様である。

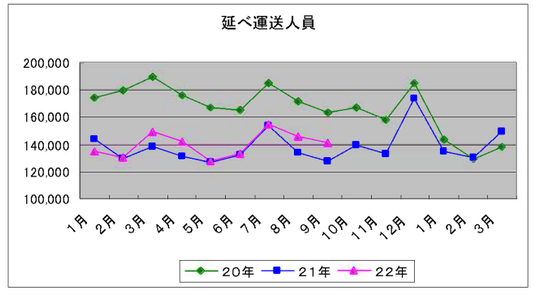
（５）大型店の動向（中心市街地大型店４社の売上高）



・平成 20 年秋からの景気の悪化により売上高の減少が続いていたが、平成 22 年 10 月の売上高は前年度を上回る結果となった。

（６）タクシー業界の動向（述べ輸送回数及び人員実績：H22 年 11 月上旬愛知県タクシー協会等にヒアリング調査）



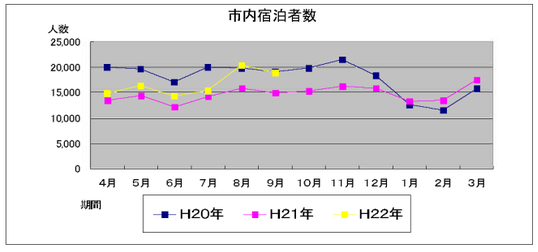


・運送回数、運送人員とも平成 21 年と比べ、若干上回ったが、タクシー業界の予想より上がり幅は少ない。

（７）ホテル旅館業界の動向

（H22 年 11 月　市内 10 ホテル・旅館に調査）

・H21 年 4 月以降、宿泊客数の減少が続いたが、H22 年 1 月以降は回復傾向にある。
・宿泊単価・消費単価の低迷が続いている。
・旅行者扱いの県外からの観光客は減少しているため、旅行社への取組みを目指すとのこと。



２　まとめ

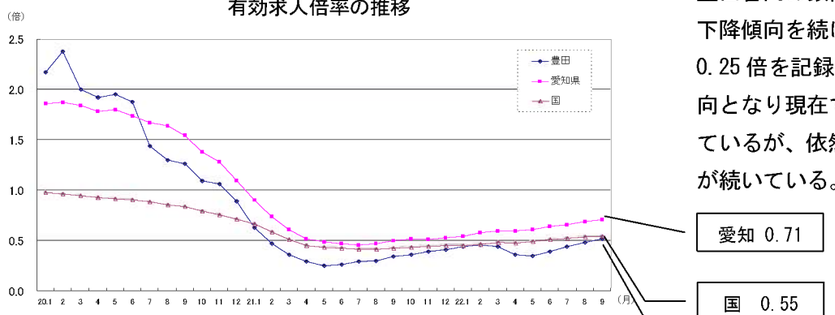
①各景況レポートでは 7-9 月期にかけて改善がうかがえるが、10-12 月期の見通しは悪化と予想されている。
②融資の状況は落ち着きつつあり、セーフティネット関連資金も減少している。
③大型店の動向や商業者アンケートから、徐々に売上高の回復が見られるが、今後の見通しは不透明である。

第１０回景況調査（雇用・製造業）

H22.11.26　　産業部　産業労政課

１　有効求人倍率状況　（有効求人倍率＝月間有効求人数÷月間有効求職者数）

有効求人倍率の推移



豊田管内の数値はH20年6月から下降傾向を続け、H21年5月には0.25倍を記録した。その後上昇傾向となり現在では 0.52 倍となっているが、依然として厳しい状況が続いている。

愛知 0.71

国　0.55

豊田 0.52

２　市内中小企業へのアンケート結果

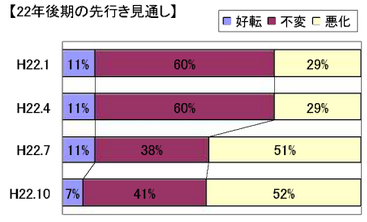
調査対象：市内中小企業　１９３社
調査期間：平成２２年１０月２８日～１１月５日
回答数　：７９社（４１%）

主な事業内容（社）	
自動車関連部品	43
生産設備	14
試作、金型	1
その他	21

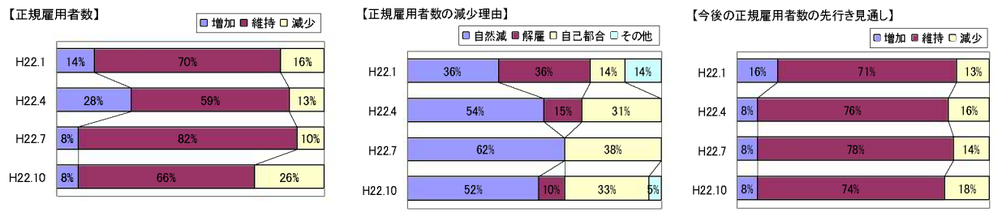
従業員数（社）	
300人以上	5
300人未満	67
未回答	7

（１）経営状況

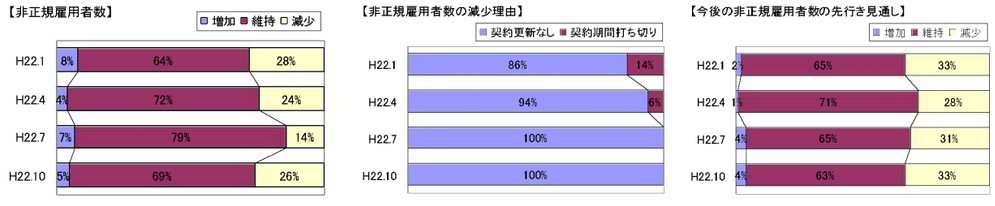
２２年後期の業績見通し



（２）今後の正規雇用者数の変化



（３）今後の非正規雇用者数の変化



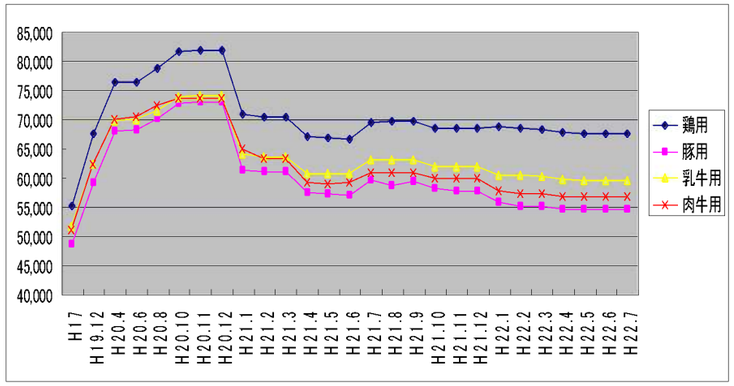
３　まとめ

①今年後期の業績見通しについては、半数以上の事業所が悪化と答えており、非常に厳しい状態である。
②正規雇用者数、非正規雇用者数の動向については、前回よりも悪化し、ともに２６%の事業所が減少と答えている。

配合飼料・肥料の農家購入価格の推移

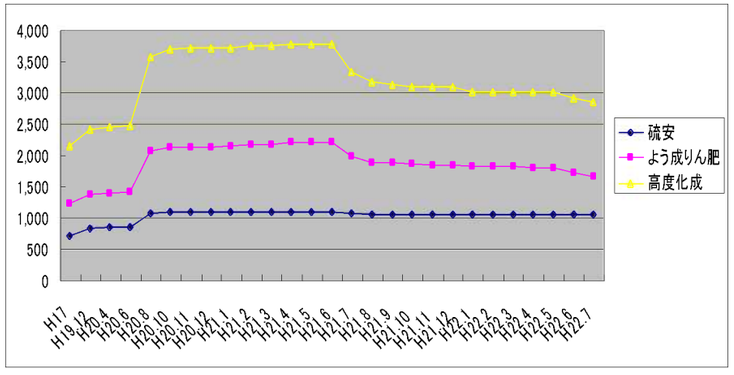
H22.11.26　　産業部　農政課

１　配合飼料の農家購入価格の推移（円／トン）　資料：農林水産統計



H20.12 までは値上がりをしていたが、H21.1 時点では平均で 10,300 円程値下がった。
H21.1 に値下がり後、変化がなかったが、H21.4 時点で若干の値下げ、H21.7 時点で若干の値上げ、H21.10 時点の値下げと、価格は値上げと値下げを繰り返している。
H22.7 時点での価格の大きな変動はない。

２　肥料の農家購入価格の推移（円／20 kg）　資料：農林水産統計



H20.8 時点に値上がりをし、ほぼ変動がなかったが H21.7 時点で若干値下げがある。

３　まとめ

①配合飼料については、徐々にではあるが値下がりがある。しかしながら、Ｈ１７時点の価格までは下がってはいない。値上げピーク時よりは経営が安定したと思われるが、依然厳しい状況だと思われる。
②肥料においては、H21.7、H22.7 時点で若干の値下げがあったが、ほとんど価格が変動しておらず依然農家にとっては厳しい状況だと思われる。